2016年11月号「vol.77」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

「ともに生きる社会かながわ憲章」を制定

県と議会、障害者支援施設での殺傷事件受け

今年は9月に南米のリオデジャネイロで障害者スポーツの祭典・パラリンピック大会が開かれました。このテーマの「他者への寛容・共生」は、貧富の格差拡大、難民問題、高齢化社会、幼児虐待の多発などの課題を抱える今日の社会のテーマといっても過言でないと思いますが、これに反し本県では7月、県立の障害者支援施設で入所者19人が刺殺され、27人が重軽傷を負った悲惨な事件が起きたことは記憶に新しいと思います。そして犯人の元職員の男（26）の「障がい者に対する偏見や差別的思考」が犯行を駆り立てることになったとされています。県では「事件で障がい者への差別が助長されるのではないか」との懸念の声を受け「差別や偏見をなくす社会実現のための強いメッセージの発信が求められている」とし、関係者の意見を聞きながら「ともに生きる社会かながわ憲章」案を提案し、県議会が同意しました（10月14日の県議会の本会議で全会一致により可決）。

憲章は「このような事件が二度と繰り返されないよう、私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、ここに『ともに生きる社会かながわ憲章』を定めます」としています。そして「すべての人の命を大切にする」「誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現する」「障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除する」「この憲章の実現に向け、県民ぐるみで取り組む」の4項目を明記した内容となっています。県議会ではすでに「県立津久井やまゆり園で発生した事件の再発防止と共生社会を目指す決議」を9月8日の本会議で可決しています。

県では憲章の制定を受け、12月の障害者週間に合わせて県内の主要新聞に関連の企画記事を掲載して県民に広く知ってもらうとともに、来年度は神奈川にゆかりのアスリート、パラリンピアン、スポーツ選手など複数の著名人の力を借りての「共生フェスタ」を開催することにしています。来年度、改正時期を迎える障害福祉計画でも新計画は憲章の方向性を踏まえたものにしていきます。また県では事件現場となった「やまゆり園」を建て替えることにしています（完成平成32年度）が、10月14日の本会議で施設の構想を策定するための予算も盛り込んだ補正予算も可決されました。

なお、神奈川県で憲章が制定されたのは今回のものが初めてです。

コレが言いたい！

今回の憲章は、この事件に屈しないと断固たる決意を示したものです。憲章の制定は、共生社会実現へのゴールではなくスタートです。今後、この憲章を県民の皆さんに広めていくと共に、誰もがともに生きる社会実現に向けて、県の障がい者施策を更に展開していく必要があります。

今月のひと言

昭和3年11月1日に開庁式を迎えた神奈川県庁本庁舎（キングの塔）が今年の11月で建設88周年を迎えることから11月2（水）～6日（日）17時から22時の間「期間限定特別アニバーサリーライトアップ」を行います。

磯子 あれ？これ？

屏風浦小学校

屏風浦小学校は、昭和29（1954）年2月に杉田小学校が火災で焼失したために同年7月に「杉田小学校仮校舎」とした施設が前身です。その後、杉田小学校の校舎が新築されたのを機に、昭和31（1955）年に児童を地域分けして、あらためて「屏風浦小学校」として開校しました。

今年で16回目の開催となる「ほっとナイト夢まつり」では、学校運営委員会が中心となり学習発表や模擬店、盆踊り、横浜市無形民俗文化財「森浅間神社囃子保存会」による演奏などがありました。また学校運営委員会が東日本大震災復興支援に取り組んだのをきっかけに、夢まつりでも三陸沿岸地方の特産品が販売されるようになり大いに賑わっています。

同校では7年前から保護者や地域の人達による「なんでもサポーター」活動の取り組みが盛んで、登録した人達による裁縫やミシン掛け、本の読み聞かせ・英語授業のサポートなどもおこなわれています。

かつて屏風ヶ浦一帯が農業・漁業を主とした生活であった歴史があり、同校の校舎内には創立40周年を記念して、当時の農機具や漁具などを展示した「歴史資料館」が設けられています。事前に連絡をすれば誰でも見学ができます。

参考：50周年記念誌、学校長の話

活動報告

10月1日（土）に開催された「希望郷いわて国体」開会式に県民・スポーツ常任委員会委員長として出席し、選手を激励して参りました。

決算特別委員会が10月12日（水）から11月4日（金）まで開催されています。10月17日（月）、平成29年度開園予定の旧吉田茂邸地区等を現地調査。また、決算特別委員として下記の質疑を行いました。○谷ヶ原太陽光発電所の未収金について○小型飛行ロボット（ドローン）を活用した調査事業について/○海岸ごみ対策について/○急傾斜地崩壊対策事業について

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成27年4月　県議会議員2期目当選
- 県民・スポーツ常任委員会委員長
- 社会福祉審議会委員

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-761-7451